

▼フレンズコーナー

フジタの ESG への取り組み

株式会社フジタ
経営改革統括部 GX 戦略部
菅原 玲子



フジタでは、自然に、社会に、街に、そして人の心に、より高い価値を創造し提供し続けることを会社の理念に掲げており、“高”環境づくりを推進しています。特に Environment（環境）での取り組みを強化しており、建物の省エネや木質化、新たな脱炭素技術の開発などを進めています。また、Social（社会）の取り組みとして、次の時代をになう子どもたちへの教育活動に力を入れています。今回は取り組みの一部を紹介します。

■環境に配慮した GX の実証的な建物、フジタ技術センター附属棟「続（つづく）」

2025 年に技術センター敷地内に附属棟を建設しました。フジタの持続可能な社会に向けた取り組みを続けていくという決意を込めて、建物名称は「続（つづく）」と名付けました。

附属棟「続」では、GX（グリーントランスフォーメーション）の実証的な建物として、当社で開発した『FWdPC®構法』と環境に配慮した新素材を各所で採用しています。外装・内装ともに、多くの木材や再生材を使用しており、木の温かみと心地よさを感じられる空間を実現しました。

FWdPC®構法は鉄筋コンクリートの頑丈さと、木材の CO2 吸収や炭素固定機能を兼ね備えた木質ハイブリッド構法です。工場生産による工期の短縮と純木造よりも高い耐震性能、RC 構造よりも環境負荷が小さいという特徴があります。



2025 年 9 月に竣工しました。
環境認証の LEEDGold、BELS 『ZEB』、
CASBEE S を取得しています。

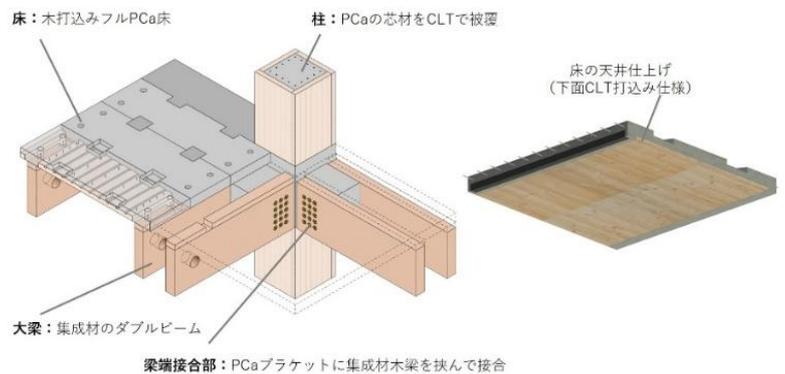


図. FWdPC®構法の基本構成

[\[Link\] FWdPC®構法（木質ハイブリッド構法）](#)

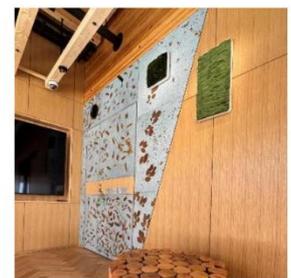
内装の一部には、従業員の使用済み作業着を原料にしたサステナブルな循環型繊維リサイクルボードを使用しています。表面には、技術センターの桜の花びらや葉、ススキなどを散りばめたデザインとし、資源循環の推進とともに、社員が愛着を感じる空間としての演出に一役買っています。



作業服回収



繊維化



リサイクルボード（製品化）

[\[Link\] 作業服のアップサイクルプロジェクト](#)

外構の一部には、雨を受け止める雨庭技術『レインテックガーデン®』を適用しています。雨水を集めて地面にしみこませ、河川等へ流れこむ雨水を減らしています。また、土壌には当社が開発したバイオ炭を含む緑化資材“ピクソイル®”を使用し、緑地による雨水管理と炭素貯留を同時に実現しています。気候変動の適応と緩和の両方に寄与するグリーンインフラ技術です。



付属棟「続」の外構に設置された雨庭

[\[Link\] レインテックガーデン®](#)

付属棟「続」は、GX 技術のショールームとしての機能とともに、社員の研修施設としても運用しています。付属棟「続」でのさまざまな取り組みはもちろん、未来へ「続」くこれからの環境価値をお客様に提案し続けながら、技術も人も育てていくための施設となっています。

■次世代育成+地域とのつながり「未来への種まき フジタの築育」

フジタでは、未来を担う子どもたちに向けて「築育（ちくいく）」と呼ばれる取り組みを行っています。「築育」とは、「建築・土木」の“築”と「育成」の“育”を組み合わせた言葉で、建設産業の魅力や社会的意義を次世代へ伝えることを目的とした活動です。

工事中の建物の見学会や職業体験をはじめ、さまざまなイベントや体験プログラムを通じて、ものづくりやまちづくりの楽しさ・重要性、さらには自然環境を大切にする姿勢を子どもたちに伝えています。こうした活動により、子どもたちが建設の仕事に対する理解を深め、将来この分野に関心を持つきっかけとなることを期待しています。社会に欠かせない建設という仕事を志す人財を育てることは、誰もが安心して暮らせる未来の創造につながり、持続可能な社会づくりに寄与するものと考えています。

■夏のリコチャレ 2025

フジタは、内閣府、文部科学省、経団連が共催する「理工チャレンジ（リコチャレ）」の趣旨に賛同し、女子小学生・中学生・高校生を対象に、技術センターにて見学会「～フジタで“見て、触れて”楽しく学ぼう建設～」を開催しました。「理工チャレンジ（リコチャレ）」とは、理工系分野に興味がある女子生徒が、将来の自分をしっかりイメージして進路選択（チャレンジ）することを応援する取り組みで、当社の見学会は8回目の開催となります。2025年は小学生10名、中学生4名、高校生1名、保護者6名、総勢21名が参加しました。



■「けんせつ探検隊 2025」を開催

日本建設業連合会主催の親子向け現場見学会「けんせつ探検隊 2025」が、当社で施工中の「福岡広域都市計画事業三代土地区画整理事業基盤整備工事」（福岡県新宮町）の現場で行われました。当日は小中学生と保護者の8組18人が参加。子どもたちは大規模な造成現場の工事の様子や建設機械などを見て回り、土木工事の迫力を肌で感じていました。

